

認定NPO法人さざなみ会
KP神奈川精神医療人権センター

2024年度

心・KP活動報告書

ありがとうKP事務所！

2025年4月より

新事務所で活動します！

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

2024年度の総括を、さざなみ会理事長の堀合さんと、
KP会長の藤井さんからお届けします。

2024年度 総括



特定非営利活動法人さざなみ会
理事長 堀合悠一郎

KP神奈川精神医療人権センターは活動5年目に入り、立場をこえた多くの方たちのご協力のもと、歩んで参りました。

設立直後から続けている電話相談を中心とした相談活動については、今まで以上に多くの方に知っていただくことができ、相談件数は過去最多となりました。厳しい状況に置かれた方からの相談も多く、活動の必要性を痛感しています。

病院訪問見学活動も2年目を迎え、県内の精神科病院9院に足を運びました。精神科医療をより風通しの良いものにするために、少しでも寄与できればと考え、取り組みを続けています。

今後も、精神的困難に直面した方たちの権利擁護のため、KPは活動を進めて参ります。引き続き、KPをよろしくお願いいたします。

私共KPが設立されて早や5年ほどの歳月が流れ、今後の活動を見据えていく節目を迎えました。正直なところ、良し悪しいろいろありと今思っています。ただ設立以来、着実になすべき事柄を遂行してきたかと我ながら胸を撫で下ろしているというのが今の思いです。

電話相談、病院訪問、630調査の開示請求による冊子刊行、他各種講演会勉強会開催等々、KPに関わっていただいた方々に先ず、この場をかりて深く感謝の意を表します。今後も日本の精神科医療、精神保健福祉の在り方をスタッフ一同また、多くの方々と交えてより一層ポジティブに進めていければと考えております。

どうぞ、今後とも皆様のご協力ご賛同をお願いして私のご挨拶とさせていただきます。



KP神奈川精神医療人権センター
会長 藤井哲也

もくじ

今年発行したニューズレターも
一緒にお楽しみください！

p.3 2024年度 活動報告

■ ニュースレターvol.1
(2024年6月発行)

■ ニュースレターvol.2
(2024年8月発行)

■ ニュースレターvol.3
(2024年10月発行)

■ ニュースレターvol.4
(2024年12月発行)

■ ニュースレターvol.5
(2025年2月発行)

p.25 ありがとうKP事務所！

p.26 追悼文



2024年度 KP活動報告

2024年度もKPは精力的に相談活動を行いました。
多くのボランティアさんに支えられ、面会活動や見学訪問
もたくさん実施することができました。認知度も上がり、
雑誌等のメディアにも取り上げられることが増えました。
みなさん、ありがとうございました！！

相談件数1194件！新規は131件！

2024年度は相談件数がさらにのび、1年間*
で1194件にのぼりました。

新規相談の内訳は、本人（79件）、家族・
関係者（52件）／県内（78件）、県外（48
件）、不明（10件）／医療について（96件）、
生活・福祉・その他（35件）です。

内訳

電話...999回

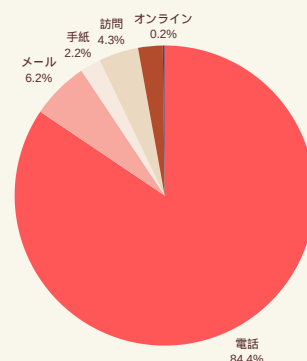
メール...79件

手紙...27通

訪問...49回

所内面接...33回

オンライン...7回



*2024年4月1日～2025年3月31日

相談ボランティアの声



風書さん

最近、入院されている方を中心に、なかなか電話で相談しづらい
という方を対象に、手紙での相談の受付を始めました。ボランティ
アの方でも「電話はちょっと...」という方で、手紙なら対応できる
という方もおられると思います。

声はその瞬間で消えてしまいがちですが、文字なら振り返り見るこ
とができます。むしろ、入院されている方は手紙の方がゆっくり味わ
えると思います。その分、なるべく綺麗な文字で書こうとする姿勢
は必要になります。残るものなので、いい加減なことは書けませ
ん。寂しくなったり、悲しくなったりした時に慰められる手紙を書
けたらいいなと思います。私は漢字が苦手なのでまずそういう事か
ら勉強しなくてははいけません。（風書なおき）

1年間いろいろなことがあった中で記憶に残ったことについて話
したいと思います。

ある日電話を2人で受けることがあり、2人が言うことが違って
いたのが面白かったです。正解がある話ではないので当然のことな
のですが、各自の言葉の中にこれまでしてきた経験や考え方が反映
されていると思いました。別の日に、受けた相談についてボランテ
ィアの間で一緒に考える機会がありました。ここでも各自が違う考
え方をしているのが興味深く、自分が思いつかない発想を知るのは
勉強になると感じました。

声を重ね合わせるというのはこういうことなのでしょう。「あのと
きに聞いた誰かさんのあの言葉...」が重なり合うことで、ひとりひ
とりの人格と社会が形成されていくのだと思います。（三輪明広）



三輪さん

2024年度の活動

講演活動 (13回実施)

虐待防止研修、ピアサポ養成交流会、ケアマネ協議会
研修、やどかりの里講演会、大学の講義多数

雑誌・新聞 (7回掲載)

精神医療、こころの科学、月間みんなねっと、
ラジオBLUE SHONAN、書籍寄稿 他

学会・論文 (3回発表)

『日本精神保健福祉士協会学術大会（プレ企画・分科
会）』『日本公衆衛生学会（日本公衆衛生雑誌）』

病院訪問プロジェクト

見学させていただいた病院はこちら（見学順）

今年は、昨年度よりも多
くの病院から見学了承のお
返事をいただき、9つの病院
を見学させていただきました。
本当にありがとうございました！
報告書も発行しましたので
ぜひご覧ください。

- ・ 昭和医科大学横浜市北部病院
- ・ 横浜相原病院
- ・ 済生会横浜市東部病院
- ・ 鶴見西井病院
- ・ 日向台病院
- ・ 藤沢病院
- ・ 清川遠寿病院
- ・ 神奈川中央病院
- ・ 神奈川県立精神医療センター

定例会

今年もたくさんの方に定
例会にご参加いただきました！
引き続き毎月開催して
います。ぜひご参加くださ
い！

定例会参加延べ人数

現地参加 210名
オンライン参加 126名

ミニミーティング

毎月開催されたミニミーティングでは、相談ボランティアさんが集まって気
になる相談の対応について話し合いました。ボランティアさんたちからは、「顔
を見て話すことができると、一緒に相談活動をしてるんだな～という気持ちに
なる」「対応を失敗してしまった時、たくさんアドバイスをもらえて次も頑張ろ
うという気持ちになる」などのお声をいただきました。



KPニュースレター

2024 vol.01

こんにびあ。 2024年度が始まりました。新年度、また気持ちを引き締めて活動してまいります。4月、5月の活動を報告いたします。

【今年度のはじまりによせて】



私共KPは、おかげさまで4年が経過しました。この間、ピア（仲間）が支える権利擁護を掲げ、精神障害当事者やその家族の方などから相談をお受けし、実際に病院への面会活動を通じての退院支援、場合により退院後の生活支援などを行ってきました。また、講演会の開催、精神保健福祉資料（630調査）の情報開示請求を実施し、県内の精神科病院や精神科クリニックの現状を冊子刊行し、幅広く社会へ向けて普及啓発活動を展開してきました。

これからも、益々今後の精神科医療、精神保健福祉のより一層の向上に寄与して参りたいと考えております。引き続き仲間の声を聴き、長期入院や、病院内での虐待、不当な身体拘束、過剰な行動制限、日本の精神科医療に残る医療体質・医療意識（パターンリスティックな医療モデルや閉鎖的な環境下で起こる非人権的な意識）の解消や改善への働きかけの取り組みを続け、精神障害当事者のあってはならない人権侵害をなくすよう日々社会に発信していきたいと考えています。

そして、誰もが安心安全で暮らせる社会をみなさまと共に思案しながら、地域社会に向けて当事者の現状を訴え、理解を求めつつ、その先に治療環境がより良くなり、より当事者の声が反映され、誰もが人間として当たり前に生活できる環境作りを目指してしていきたいと考えています。今後ともご協力ご賛同のほどよろしくお願い申し上げます。

KP神奈川精神医療人権センター 会長 藤井哲也



【きくこと・・・大切にしたいこと】

精神障害当事者としての自分のリカバリーのきっかけの一つは、過去の辛い体験も含めて、話を聞いてもらえた、と思えた体験でした。自分の声に対して、評価や価値判断されることなく受け入れてもらえた、と思えたことです。

ピア活動に関わり始めてから、多くの入院経験ある精神障害当事者の仲間と出会い、精神科病院に入院していると自分の思いを聞いてもらえる機会があまりない、という声をよく耳にしました。

その「声をきく」ことから始め、広くは人権擁護にまでつながる活動を神奈川でもできないか、と考え、有志で立ち上げ、立場をこえた多くの方に支えられているKPです。

日々、ご支援、ご協力、本当にありがとうございます。

引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人さざなみ会 理事長 堀合悠一郎



『定例会ってこんな様子です・・・』

〈4月〉新年度第1回目のKP定例会！

■3月の相談について報告

- 冊子『かながわ精神科病院訪問記VOL:1
～いって・みて・きいてきた（さいしょの一步）～』完成
・みなさんと冊子を読み合わせして意見交換しました。
- KPパンフレットの改定
・新しくなるパンフレットについて意見交換しました。

（いただいたご意見）

- ・色を変えたい（やわらかい色調に・・・）
- ・カードサイズのものがあると良い
- ・「KP」についての説明や紹介がほしい
- ・相談は入院している人に限らないことがわかるようにしてほしい
- ・相談の内容について項目をもう少し絞り、具体的な事例なども示してはどうか
- ・『権利のこと』『環境・待遇・アメニティのこと』『医療にまつわること』整理をしてはどうか。
- ・入院している方の手元にKPのことや電話番号が伝わるのが目標
- ・病棟にも配置してもらえる内容にした方が良い

今年度より、定例会の開催時間を繰り上げ、
毎月第1火曜日の17:30～19:00 に開催しています。
ぜひご参加ください。

〈5月定例会〉

■4月の相談について報告

- 8/25に千葉で「精神医療人権センター」の設立集会が開催されると報告
- 2023年度相談実績の報告
・2022年度と比較して、約100件増えている。
また、病院訪問は2倍程度になっていること。
- KPパンフレットの改定
・たたき台をみていただき意見交換しました
- 神奈川県『精神科病院 虐待対応窓口』設置のお知らせ
- リアンハイム（藤沢市）グループホーム視察の報告
- ベルギー視察の予定について
・視察の趣旨の報告
・事前に氏家さんにお話しいただくなど
ベルギーの精神医療を学ぶ機会を持ちたい
・視察で訊いてきてもらいたいことを募ること

【病院見学訪問について】

4年前、発足もないKPは、横浜市内の全ての精神科病院を外から見学するバスツアーというユニークな企画を挙行了した。それ以来、精神科病院の内部への訪問がKPにとっての悲願だった。それを阻んでいたコロナ禍がようやく一段落したことを受けて、精神科のベッドを持つ県内70の病院に対して、院内見学の希望を伝えたと、去年は7つの病院から、今年は更に現時点で9つの病院からOKの返事をいただいた。

正直なところ、我々の訪問を受け入れてくれる病院がこれほどあるとは思わなかった。精神科病院は、まだまだ外部の目を拒む閉鎖的な姿勢が強いと思っていたからだ。その予測がいい方に外れたのは、一つには、入院患者の減少など厳しい経営環境の中で、少しでも世の中に開いていこうというという病院側の姿勢の変化があるのではないかと、もう一つには、入院患者との面会やケア会議への参加などの活動を通じて、KPに対する信頼感を多少なりとも持ってもらえたからではないかと、希望的な観測をしたくなる。とは言え、我々の訪問を受け入れてくれる病院はまだ少数派だし、利用者のナマの声を聞くことも今後の課題である。

病院訪問の具体的な内容については、冊子「いって・みて・きいてきた」を参照していただきたいが、概ね施設は新しく、清潔で、入院患者への処遇も人権に配慮されているように思われた。そういう意味では一昔前の精神病院のイメージとは大きく異なり、患者のアメニティが向上していることは間違いないだろう。ただ、それだけでいいのか、という疑問も湧く。世界的にも稀な数の精神科病床を抱え、しかもその半数以上が強制入院という事実がある中で、入院中のアメニティをよくすることに膨大な医療資源を費やすことが、本当の意味で当事者の利益になるのだろうか？もっと地域での医療の充実に資源を割くべきではないか？今の日本で個別の病院にそこまで求めるのは難しいだろうが、我々としては精神科医療のあるべき姿を追い求めつつ、現実の病院を一つでも多く見ていきたい。（稲川 洋）

< KP4周年記念講演会『～ピア（仲間）が出会う・支える～』のご案内 >

みなさんのサポートをいただいてKPは4周年を迎えることができました。
そこで、日本福祉大学の青木聖久さんをお迎えして、記念講演会を行います。

日 時：7月27日（土）13：45～16：30
場 所：神奈川県地域労働文化会館2F
参加費：1,000円
講 師：日本福祉大学 青木聖久さん

基調講演「なるほど」によって 問題がとけていく瞬間の安心感

～これまで出会ってきた人たちからの追体験を中心に～

はじめまして。日本福祉大学の青木です。今回、ご縁をいただき、神奈川県の皆さんと知り合う機会をいただき、大変うれしく思います。講演では、私自身がこれまで多くの方々と出会ってきたなかで、「なるほど」とうなずき、視点を置き換えられたり、問題をちっぽけに感じられた話をしたいと存じます。

また、やさしさと共に希望を感じられる時間になりたいと考えています。そして、最後には「人間にとって、最終的な幸せとは」ということまで迫れるような話をできればと張り切っております。

私はこれまで、精神障がいがある人及び家族の皆さんから、人の魅力を教えていただきました。当日は、私の財産ともいえる、これらの人間味が詰まったバトンを皆さんにお渡しできると幸いです。

知多半島より 青木聖久



青木聖久さん

KPの活動報告
もします！

※詳しくは、別紙フライヤーで
ご確認ください。

また、講演会の前日に KP企画 さざなみ交流会を おこないます。

青木聖久さんや日本福祉大学の卒業生の方々をお迎えし、KPやさざなみ会の事業所を紹介し、交流する時間をもちたいとおもいます。ぜひご参加ください。

日 時：7月26日（金）15時ごろから
会 場：ピアーズ
参加費：無料 申し込みも不要です

【3/24 不安の正体の上映会に登壇しました】

港南区地域生活支援センター啓発事業にて『不安の正体』上映会・パネルディスカッションに、堀合さんと私が登壇しました。地域から30名が参加しました。

会場では参加者との意見交換もあり、施設の反対運動はほかの地域でも起きていますと報告がありました。『施設コンクリートの問題』は、他人事ではないということ共有した時間になりました。（藤井哲也）

【パンフレットをあたらしくします・・・】

みなさんに親しんでいただいていたパンフレットですが、設立から4年を経て改訂することにいたしました。これまでKPで相談を受けてきた中で、もっとこうしたら！という声がかきこえてきたからです。

今回は、KPの活動のなかでも重要な「相談」について、まとめました。

あたらしいパンフレットをぜひ手にとっていただき、感想をお寄せいただければと思います。

【ボランティアのつぶやき】

KPの電話相談は、聞いても解決できない問題が多くあります。
「辛い、苦しい」「医療者に酷い対応をされた」、
そんな話を延々と続いて、あなたも辛そうだけど、わたしも辛い。
そんなときに、ふと話題が展開して、
「散歩していたら道端にあやめが咲いていた」と。
「あやめの季節ですね」と返したら、きれいな花を写真に撮ったり
絵を描いたりするのがお好きなのだと教えてくれました。
状況は何も変わらなくても声色が明るくなって、ひと安心です。
あやめの花言葉は朗報・希望、良い便りが届きますように。

田辺 有理子

電話相談などで活動してくださっているボランティアさんに日々感じたことをつぶやいていただきます。

【相談活動のご報告】 4月～5月

<相談活動の集計と内訳>

病院へ長期間入院されている方のところへ面会を続けています。
お話をしたり、今後についての希望を伺ったりしています。KPにできることを考え、続けていきます。

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン面談
4月	73件	56件	8件	1件	4件	3件	1件
5月	91件	79件	7件	1件	4件	3件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・その他
4月	9件	6件	3件	3件	6件	0件	6件	3件
5月	9件	7件	2件	4件	5件	0件	7件	2件

ご入院された本人や、家族などから「医療保護入院について」「退院請求について」「医師とのやりとり（治療方針の事、お薬について）」などご相談が寄せられました。県外からもご相談があります。まずはじっくりお話を伺っています。

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

4月30日（火）6名（現地5名、オンライン1名）
5月31日（金）8名（現地5名、オンライン3名）

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。5月からは17：30からの開催となりました。ぜひ、みなさんご参加ください。

4月2日（火）来場20名 オンライン4名
5月7日（火）来場18名 オンライン9名

※夏にはゲストスピーカーをお招きする予定もあります。ぜひご参加ください。

KPの動き

《ホームページが新しくなりました》

日々の活動も投稿していく予定です。ぜひチェックしてください。



《630調査について》

2023年のデータについて情報開示を行い、現在入力作業がほぼ終わり分析作業をすすめております。あともう少しでみなさんにご覧いただける予定です。また、9月には報告会を開催する予定にしています。お楽しみに。。

《病院訪問について》

4月に病院訪問についてアンケートを送り、現在のところ9つの病院から受け入れますとのお回答がありました。今月より順次病院訪問をはじめていきます。訪問についてご協力いただける方はご連絡ください。

【編集後記】

KPの事務所は、京急線の屏風浦駅から徒歩5分ほどののどかな住宅地にあります。事務所でお話をさきすることもあります。直接会って話したいなと思ったらぜひ事務所にお越しください。ただちょっとわかりづらい場所にあるのといない時もあるので、事前にご連絡ください。待っています。（事務局）
定例会や勉強会、講演会や普及啓発活動など案内をご希望の方はご連絡ください。
（メーリングリストに登録させていただきます。）

発行：特定非営利活動法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー



発行日：2024年6月10日

住所：〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-14-3

電話：045-353-5711 相談電話：080-7295-8236

MAIL : kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ：https://kanagawa-peer.com/

※みなさまからのご意見・ご感想お待ちしております。

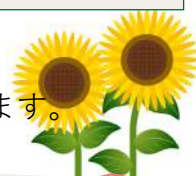


KPニュースレター

2024 vol.02

こんにぴあ。今年も暑いですね・・・熱いのか暑いのかアツいのか・・・

太陽さんの熱が届いているって思ったら、神秘的なことのような気がしたりしてしています。皆さんの夏はどうでしょうか・・・。



< KP4周年記念講演会『～ピア（仲間）が出会う・支える～』



2020年に発足したKP。

4周年の今年は日本福祉大学 教授の青木聖久さんをお迎えして、7月27日（土）に神奈川県地域労働文化会館にて、講演会を行いました。

講演前には、『ピア（仲間）が出会い・支えた4年間の権利擁護活動』としてこれまでの活動の報告を行いました。

青木さんからは「なるほど」によって問題がとけていく瞬間の安心感～これまで出会ってきた人々からの追体験を中心に～という演題でご講演いただきました。

講演後には KP会長の藤井さんと副会長でさざなみ会理事長の堀合さんも登壇して、ディスカッションを行いました。

【参加者の声から】

< 講演をきいて >

- ・人生に起こる様々なことを一つの物語ととらえ、いつかその物語を読み返した時に力に変えるということを考えていきたいと思いました。
- ・出会った人々との経験から、社会的な活動へつなげていくことに意味があると感じた。
- ・スティグマの問題は今も世間に多くあるが、「共に生きる」「共生社会」という言葉が一人歩きせず実践されるといい。

< KPの報告をきいて >

- ・神奈川県のピア活動の”今”を聴けた感じがしてとても良かったです。
- ・わたしにも仲間（ピア）がいることをあらためて感じました。
- ・ピアの方々のありのままの発言は共感できた。
- ・「旗振り」することは世の中を動かすために大切です。横浜で頑張っている人たちが沢山居ることにワクワクします。

みなさんありがとうございました。

『さざなみ交流会（7/26）』が行われました。

日本福祉大学 教授の青木さんに、
「さざなみ会のことを知ってもらおう！」と企画し、青木さんには各事業所を見ていただきました。
そのあと、さざなみ会の事業所がそれぞれ一芸を披露しながら、わたしたちこんな活動をしています！！と発表しました。



交流会終了後には、いつものお店（？）で懇親会も行いました。青木さんの教え子さんが、愛知や鳥取など全国から参加くださいました。

青木さんからは、4点のまとめのお話がありました。

- ①ボーダレス
 - ②ユーモア
 - ③今と未来
 - ④一度きりの人生
- どの言葉がいちばん響いたでしょうか・・・。
また 次回が楽しみになりました。



懇親会の様子



交流会の様子

『定例会ってこんな様子です・・・』

〈6月 定例会〉

- 5月の相談について報告
- 10月のベルギー視察へ向けて、視察団の事務局 代表の氏家憲章さんからお話いただきました。

- ・日本の精神医療の情報や課題
- ・ベルギーの精神医療改革について
- ・アウトリーチチームによる支援の体制

<意見交換からの声>

- ・ベルギーの生の情報を吸収してきてほしい
- ・住民、街、その中で精神医療がどういう位置にあるのか見てきてほしい
- ・ベルギーのピアの活躍も知りたい
- ・精神科とほかの科で差がないなど医療業界全体のことも教えてほしい

〈7月 定例会〉

- 6月の相談について報告
- 6/29ETV特集『死亡退院 さらなる闇』放映をうけて、定例会参加者で感想や意見交換を行いました。

<意見交換からの声>

- ・もっと当事者の話をきいていかなければならないのではないか？
- ・どうして「精神疾患」というだけで他の病院（一般科）と分けられるのだろう。
- ・社会の問題。自分たちにも返ってくる話だと思う。
- ・医療や行政からは、自分が前向きになろうとしている時に「病気だから」「具合が悪いから」と丸め込まれる感じがする。なんでも「病気」「障害」で判断したり区切ろうとするのはやってはいけないことだと思う。



【もっと知りたい 630調査データ 勉強会】

KPでは2020年から630調査（精神保健福祉資料）の開示請求を行い、それをデータ分析しております。

2022年には「どこに行けばいいの?! ～精神科病院選びの参考になるデータ本（神奈川編）（2021年度版）」

2023年には「診療所・訪問看護ステーション編（2022年度版）」として冊子にまとめました。

そして今年は、開示されたデータをどう読めばいいか、どう活用できるのかについてみんなで勉強したいと思っています。ぜひご参加ください。

日 時：9月20日（金）18：30～20：00

場 所：ウィリング横浜 901号室（京急線 上大岡駅直結）

参加費：500円

定 員：70名（先着順です）

※お申し込みは、KP事務局まで（メールまたはお電話ください）



【東京都立病院機構松沢病院「日本精神医学資料館」見学の報告】

7月30日に松沢病院の『日本精神医学資料館』に見学に行ってきました。明治大正からの日本各地の精神医学や松沢病院の歴史資料が収められています。2014年以降、資料館は現在の「旧保護病棟」に展示収蔵され、保護室なども当時のまま保存され見学できます。「患者も医療従事者も、差別や偏見・無知や不寛容な大変な社会背景の中で、その当時の最善を目指して患者中心の医療や社会復帰に取り組んでいたことが分かった」という意見や「現代は、変わってきたこともあるが、隔離収容などの様子は今も昔も変わらないこともあると感じた」という意見もありました。(三瓶)



【ボランティアのつぶやき】

KPの電話相談をやって数年たちます。

しかし、全然慣れることはありません。いつもKP事務所向かう電車の中で、今日は誰からかかってくるだろう…と思います。

電話をかける側の人はあらかじめKPの情報をインターネットやパンフレットで知ることが出来ます。

しかし、電話を受ける側は、困っている人だろうけど、どういう人なのか分かりません。どういう困りごとなのかなどをきくために電話受付をしているのですが、でも怒った声でも悲しい声でもちゃんとうけつけられるようになりたいです。

風書なおき



電話相談などで活動してくださっているボランティアさんに日々感じたことをつぶやいていただきます。

【相談活動のご報告】6月～7月

<相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン 面談
6月	75件	63件	3件	0件	9件	0件	0件
7月	127件	109件	6件	1件	8件	3件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・ 関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・ その他
6月	11件	7件	4件	9件	2件	0件	10件	1件
7月	16件	9件	7件	7件	7件	2件	11件	5件

<こんな相談がありました。>

(入院中の方より) 退院請求は却下されてしまった。この先のことが不安なので面会に来てほしい。

(福祉サービス利用中の方より) 職員さんにきつい口調で叱られて怖かった。そのあとも、ぞんざいに扱われている感じがする。

(ご家族より) 息子が、薬を飲むのに抵抗がある。飲んでほしい気持ちもあるが、どう対応したらよいだろう。どう声を掛けたいだろう。

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

6月28日(金) 10名(現地8名、オンライン2名)
7月19日(金) 8名(現地4名、オンライン4名)

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。ぜひ、みなさんご参加ください。

6月4日(火) 来場19名 オンライン9名
7月2日(火) 来場20名 オンライン6名

KPの動き・お知らせ

■病院訪問について

7月初旬より、順次見学訪問がはじまりました。訪問することで「あ～そうなんだ」とわかることがあって、そしてそれがまた新たに「どうしてそうなってるの?」につながります。定例会などで報告しながら、進めていきます。ぜひ感想をお寄せください。

7/9 昭和大学北部病院 7/18 横浜相原病院
7/23 横浜市東部病院 7/31 鶴井西井病院

※8月～9月にかけてイベントが盛りだくさんです。メーリングリストなどでお知らせしていきます。ぜひみなさんご参加ください。



【編集後記】

窓のない空調のきいた面会室でAさんと会って外にでると、真夏の青い空に真っ白な雲がもくもくと浮かんでいました。

KPの活動(病院の訪問や相談業務、普及啓発事業など)は、サポーターの皆さまからのご支援で成り立っています。

活動を継続していくために、サポーターとしてお力を貸していただければ幸いです。

【ご支援 振込先】

横浜銀行 杉田支店 普通 1530250
名義名: 特定非営利活動法人さざなみ会

発行: 認定NPO法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー

発行日: 2024年8月10日

住所: 〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-14-3

電話: 045-353-5711 相談電話: 080-7295-8236

MAIL: kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ: <https://kanagawa-peer.com/>



※みなさまからのご意見・ご感想お待ちしております。



KPニュースレター

2024 vol.03

こんにびあ。 やっと迎えた秋という感じがしています。秋と言えばなにでしょうか？おいしいきのこを思い浮かべたり、もみじのオレンジ色を思い浮かべたり・・・



＜アンケートより抜粋＞

- ◇入院に至らない仕組みづくりが必要
入口が少なくなれば・・・出口も少なくなる。
- ◇閉鎖病棟はそもそも患者を隔離しているのではないのかと常々思う
- ◇訪問活動やデータ集計の結果を病院に
フィードバックしていただくことは大切
- ◇堀合さんの言葉
「みんなで学びあうことが力になる。
社会を変えることにつながる」という意味も
大きい。それを一緒にできていることがいい
- ◇長引けば長引くほど、地域との結びつきが減る。
精神科病棟がもっとオープンになればいい。
- ◇こうした医療機関の状況が
市民のだれもが分かりやすくアクセスできる
当たり前の社会になることをのぞみます

9月20日（金曜）ウィリング横浜にて、「もっと知りたい 630調査データ」勉強会を行いました。KPでは2020年から630調査（精神保健福祉資料）の開示請求を行い、データを分析したり、見やすく編集して公開したり、病院に直接訪問する活動をしています。

今回は、KPの稲川さんと三瓶さんから、情報開示請求の方法や、開示された630調査データの読み方、活用方法などを講義し、たくさんの参加者の皆さんと一緒に勉強しました。

現在、ホームページで公開準備中です。これまでに発行したデータブックもPDFデータで公表予定です。ぜひご覧ください。



みなさんありがとうございました。



『9/25 SKYかわさき虐待防止研修』

先日、skyかわさき主催の虐待防止研修にKPから事務局の三瓶と私で参加登壇して参りました。昨今、医療や福祉支援の現場で起きている虐待が多々話題にのぼり、方々の福祉事業所で研修をしている現状をみます。そういう中、早速私共KPから行って来た次第です。

先ず、三瓶さんからKPの立ち上げから今までの活動などの説明、また、実際にKP電話相談対応を通じての苦労話から医療福祉の現場における虐待と思われる事例報告を題材に具体的検証の話をしていきました。

その後、私が自身の福祉事業所でのメンバーさんとの対応から生じた事柄を話しながら当事者と支援者の支援の遣り繰りの難しさを話しました。具体的に会話のやり取りの中、言葉で伝える時の語彙に対する解釈の行き違いで生じるメンバーさんとの齟齬を感じています。

ただ確かな事は、当事者支援である限り、あくまでも当事者目線に立った支援がなされているかが、キーポイントかと思います。

今回の研修を通じて、今後も当事者主体の支援を目指して参ること、今さらながら自覚を新たにしつつ次なる明日の支援に繋がたいと考えています。（藤井）



研修後の懇親会の様子

『9/26 神奈川人権センター 第34回神奈川人権研究交流集会』

風書さん、山田さん、三瓶で講演をしてきました。精神医療や精神保健福祉の「今」を多くの人に知っていただきたいと思いお話ししました。相談者からは「本人の気持ちが置き去りになっているような」切実なご相談があります。

KPの日々の相談や病院訪問の活動を報告し、風書さんや山田さんからは相談を受けて感じる「聴くこと」「寄り添うこと」の大切さ、市民の誰もが精神医療のユーザーになりうる現代で、精神医療がみんなの安心して利用できるものになれば、という願いが語られました。たくさんの方に関心を寄せていただき、KPの仲間の輪を広げていけるといいなぁと感じています。

（三瓶）



満員の客席に向かってお話しする様子

『定例会ってこんな様子です・・・』

〈8月 定例会〉

- 7月の相談について報告
- 『速報！病院訪問のご報告』

昭和大学横浜市北部病院、横浜相原病院、済生会横浜市東部病院、鶴見西井病院訪問の様子について、参加したメンバーから報告し、参加者で感想や意見交換をしました。



〈9月 定例会〉

- 8月の相談について報告
 - 病院訪問活動について
- 『速報！第2弾 病院訪問報告』 日向台病院

『これからどうする？病院訪問の今後を検討しよう！』

次年度の病院訪問について話し合いました。

- ・今まで訪問した病院にも再訪問したい
- ・訪問時のチェック項目シートを改変しよう
- ・入院されている方の声も聴きたい
- ・目的を共有したい、訪問前に勉強したい、などの意見が出ました。

☆静岡で精神医療人権センターの立ち上げを目指す方々も参加されました！

【10/31(木)】ベルギー精神保健医療改革視察 報告会

10/6～12 ベルギーの精神医療改革の視察として、氏家憲章さん率いる視察チームに参加しました。

リカバリーモデルとコ・プロダクション（共同創造）を理念として施行された「プシ107条」に基づく病床削減や地域移行を進めてきた精神医療改革（第3次 2010年～）後のベルギーの今を視察しました。

ベルギー（アントワープ）の精神科病院や、モバイルチーム（アウトリーチ訪問による在宅の医療福祉支援）の実際、予防や早期のケアに重点を置く子供や若者たちのためのメンタルヘルスネットワークの取り組み、家族やピアスペシャリストのお話しなど、ベルギーでの現場訪問とスタディーの内容について、報告したいと思います。

日時：2024年10月31日(木) 18:30～20:00 (18:15開場)
会場：ウィリング横浜 12階研修室 参加費 1,000円



【小堀さん、見守っていてください…】

KPメンバーで、さざなみ会前理事長であった小堀真吾さんが、52歳の若さで9月26日に急逝されました。

KPの活動に立ち上げから関わり、その気さくな人柄と信念に裏打ちされた存在感で、私たちに「何があってもみんなで協力すれば乗り越えられる」と、力強い安心感を与えてくれました。その安心感があり、小規模で制度的な後ろ盾もないところからスタートしたKPが、多くの人たちとともににぎやかに走って来ることができて、今の姿があるのだと感じています。

今回、KPには多くの方より、温かいメッセージを多数いただきました。私たちひとりひとりにとって、小堀さんとの思い出は一種独特の光を放っているのかもしれませんが、改めて、小堀さんの人柄が偲ばれます。そして、KPとして、多くの方々とともに力を合わせ、歩みをつづけなければならない、と、意識を新たにしました。小堀さんにも、これからのKPを、どこから見守っていてほしい、と、切に願います。

小堀さん、今まで本当にありがとうございました。
心よりご冥福をお祈りいたします。

堀合悠一郎



【ボランティアのつぶやき】

「上手く聞けたと思えた時は聞いていなかったのだ」と教えられもしました。聞いていない私に かけ手の方が合わせてくださっているだけのことなのだ・・・との戒めだと理解しています。二度目に電話を受けた時 前回の私の対応を痛烈に非難されてしまった苦い経験もありました。

そんな私も最近は「心地よく聴けた・・・」と覚えることが 少しずつ増えてきました。話しているうちに だんだんと舟の高さが同じになって来て 友達と話しているような気分になっていることもあります。 “やあ あのときの・・・” とばかりに・・・

しばしば第一声で「あなたは当事者ですか 専門の方ですか？」と尋ねられることもあります。「ただのボランティアです」と答えるのですが 終わり近くになってその方から「あなたの名前は？」と聞かれたときは 嬉しく思えるときです。

NORIHIRON

電話相談などで活動してくださっているボランティアさんに日々感じたことをつぶやいていただきます。

【相談活動のご報告】8月～9月

<相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン面談
8月	110件	96件	4件	2件	5件	3件	0件
9月	97件	83件	7件	2件	4件	1件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・その他
8月	15件	7件	8件	8件	6件	1件	12件	3件
9月	9件	4件	5件	7件	1件	1件	5件	4件

<ボランティアさん紹介！>

食べれないおそば保のおくはらです。

いつもみなさんのおそばにいたい。
何をするにも、どこに行くにも、
皆さんと一緒です。
みんなでやればなんとかなるさ。

なごみ担当 なかもいです。

たくさんのおもなき作業なら
まかせて！！（ほんと助かって
います・・・by事務局）

斬込隊長 風書なおきです。

誰かの役に立ちたいという想いで
ボランティアをしています。
弱気なので斬込隊長になりました。
頑張っていきたいです。

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

8月28日（水）7名（現地6名、オンライン1名）
9月は、お休みしました・・・

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。
ぜひ、みなさんご参加ください。

8月6日（火）来場25名 オンライン13名
9月3日（火）来場15名 オンライン12名

KPの動き

- 8月12日 FM BLUESHONAN「遊びに来ませんかスタジオへ」ラジオ出演（奥原、堀合）
- 8月19日 映画監督 島田陽磨さん講演会「生きて、生きて、生きろ。」
- 8月25日 千葉精神医療人権センター設立集会へ参加
- 8月31日 神奈川ピアまつり（みんなで登壇しました！）
- 9月25日 SKYかわさき虐待防止研修（藤井、三瓶）
- 9月26日 神奈川人権センター
第34回神奈川人権研究交流集会講演（風書、山田、三瓶）
- 9月27～28日 日本精神保健福祉士協会 姫路大会 発表（稲川、三瓶、濱田、堀合、矢ヶ崎、横山）

講演とか研修とか盛りだくさんです。メーリングリストでお知らせします。

【編集後記】

KPの活動（病院の訪問や相談業務、普及啓発事業など）は、サポーターの皆さまからのご支援で成り立っています。活動を継続していくために、サポーターとしてお力を貸していただければ幸いです。



発行：認定NPO法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー



発行日：2024年10月20日

住所：〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-14-3

電話：045-353-5711 相談電話：080-7295-8236

MAIL :kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ：https://kanagawa-peer.com/



【ご支援 振込先】

横浜銀行 杉田支店普通 1530250

名義名：特定非営利活動法人さざなみ会



KPニュースレター

2024 vol.04

こんにびあ。もう師走・・・師も走るといいますが、KPも走ります。ゆっくりですけどね。

< 10月31日 **ベルギー**精神保健医療改革視察 **報告** >

10/7から10/10の4日間、ベルギーアントワープにてベルギー精神医療改革の視察団（日本から15名）に参加してきました。

ベルギー政府（連邦政府精神医療改革コーディネーター）の皆さんにご協力いただき、複数の『ネットワーク』コーディネーターや精神科病院、デイケア、モバイルチーム（アウトリーチ支援）に携わる方々、ピアスペシャリストの方々などを訪ねてきました。1990年代以降、様々な地域移行の施策に取り組み、2010年の第三次改革で制定された『プシ107条』により、リカバリー、コ・プロダクションモデルの理念を掲げ「本人（患者）中心」「地域で、自宅で」「どう生きたいか、人生の選択のサポート」に舵を切り、病床削減を実現してきたベルギーの「今」の様子や、何を感じたかを報告しました。

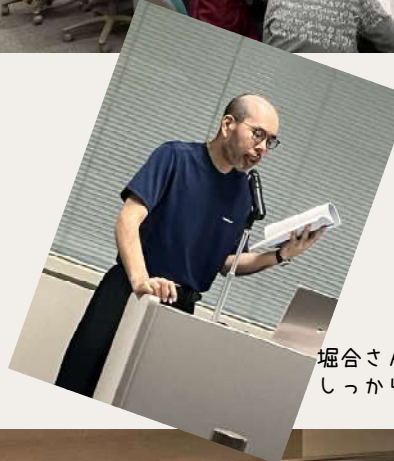
日本も世界も、精神疾患の生涯有病率は、20%以上です。5人に一人以上がメンタルヘルスの不調を経験して精神医療にかかり、誰もが家族や大事な人の不調を身近に体験するといいます。ベルギーでは、子どもも大人も、本人の暮らす自宅や地域、職場、学校で、本人中心のケアを受けられる仕組みが、法制化され（国が予算をつけて）展開していることがわかりました。当たり前、人の権利を大事にする理念の上に、医療や福祉が展開されています。（三瓶芙美）

ベルギーでは、当事者の経験はメンタルヘルスケアに欠かせない大切な資源である、という意識を土台にして、当事者・家族の参画を進めてきたと聞きました。現地で会った方皆が「共通の哲学とビジョン」を持って働いているといいます。誰一人取り残さないメンタルヘルスケアの実現のためには地域の機関や関係者の協働が不可欠であり、当事者・家族もその大切な一員として、改革の推進に寄与している様子が印象的でした。

（堀合悠一郎）



沢山の方に
お越しいただきました



堀合さんの
しっかり伝えようという姿勢



三瓶さん
イラストを説明

みなさんありがとうございました。

<アンケートより抜粋>

<感想>

- ◇患者の意思を尊重し、かつ医療ではなく地域のケアを重視している点が日本とは本当に違っているとびっくり
- あきらめないでやるのが大切
- 障がいをもつマイノリティに対して私たちの地域はかなり無関心なのかなと思うとともに、それは人間の社会として地域そのものが不完全な気がしました。その責任のいったんはわたしにもあると反省
- 日本の包括ケアシステムは似ているが、哲学とビジョンが現場にしっかり浸透しているところやコーディネーターの動きが日本とは異なるように感じました。日本ではどのように進められるのでしょうか。法律だけではないだろう・
- ベルギーの支援ネットワーク、モバイルチームは、日本でいうとどのような団体、人員が担っているのでしょうか？制度の違いも含めて国の積極的な関与支援が必要ではないかと感じた
- 変革には政治的な決断が必要と思うが、何でそういう決断ができたのか知りたかった。
- 最終的にやる人はどのように意識変化を促し、行動に移していくのかを考えていく必要がありますね
- ICTカードのことが印象に残りました。精神障がいの人が、社会のなかで本人と分からない環境づくりはまだ日本では見られない。
- 国としての覚悟も感じました。
- ベルギーのような発展を遂げるにはどこから手を付けたらいいのかと途方に暮れますが、kpのように当事者の方々が積極的に活動に参加している場を地道に作っていくことからしか始まらないのですよね。
- パーソンセンタードはカウンセリングにおいても大前提としていますが、意外にもこれが最も難しい在り方でもある
- ケアをする、される、ではなく、お互いがケアする存在であるという認識を持つことがとっても大事ですね。

<要望>

- ・ぜひマネしたいところ？
- ・よくなかったところ？
- ・感動したところ？
- ・今後何をしたらいいか？
- ・すぐできることはなにか？
- ・どうしたらいいのか？
- ・・・・知りたい！！
- ・2回目に期待！
- ・動画もみてみたい
- ・ドクターなど他の職種の人からも聞いてみたい
- ・視察をどう国にアプローチするのか？
- ・詳しく話を聞く機会ほしい
- ・知りたいことが次々とわいてきた
- ・モバイルチームやネットワークなど言葉は耳に入ったが、それが一体なになのか・

ご意見ご感想たくさんいただきました。
第二弾も予定しています！！

番外編・・懇親会も盛況でした！



『定例会ってこんな様子です・・・』

<10月 定例会>

■9月の相談について報告

◇小堀さんを偲んで・

みなさんから想いを語っていただきました。

■630調査の勉強会の報告

参加者から感想が語られました。

- ・資料やスライドが、データの活用方法がわかった
- ・資料を欲しい方もいると思う。
- ・価値のある大事なデータだと思う。
- ・病院の写真を示してもらい、比較できたのが良かった。
- ・数字の羅列だけ見るとわかりづらいが、説明があるといい

<11月 定例会>

■10月の相談について報告

■ベルギー視察報告会について

◇相談活動の報告として、運転免許などにおける「欠格条項」について今後検討したいとの報告がありました。



【11/8(金)地域活動支援センターカミングに ピアサポーター養成研修の交流会に行ってきました。】



ピアカムの活動は純粋にピア主催なので、先発的で素晴らしいグループであり、更なる発展を願いたいと思えました。また、質疑応答では実際の相談現場での苦労談や対処方法についての質問が複数あり、一人一人の関心の高さや相談能力向上への熱意が感じられました。特にピアサポート活動の盛んな他団体や、学生との交流や意見交換は、お互いを高める為にも重要なことと、改めて思いました。(ヒコさん)

電話相談の体験では、誰からかかってくるかわからないプレッシャーや守秘義務があり親や友達にも言えないもやもや感で、ピアのケアも必要ではないかと話しました。カミングはなかなか電話できない人に対して文通もやっているとのことでした。KPも文通はできないか検討するのもいいかもしれません。(風書なおき)

【11/15(金)東京家政大学にゲストスピーカーとしていってきました】

東京家政大学人文学部教育福祉学科「精神保健福祉の原理」のゲストスピーカーとして今年も福富先生からお声がかり行ってきました。



私はKPの活動に参加する経緯、相談員として大事にしている事、リカバリーストーリーなど箇条書きにして話しました
1人でも多くのご相談者様にお元気になって頂きたい、頭の何処かで大丈夫って思っておけば大丈夫になると思いますので..余りお気を落とさないで下さいね..とお伝えしています..この前、私の言葉に救われたと仰って下さった方がいてとても嬉しかったです..
自分の存在価値を再認識出来たのではないだろうか.. (くーちゃん)

【サポーターになってください!!】

わたしたち KPの活動(病院の訪問や相談活動、普及啓発事業など)は、サポーターの皆さまからのご支援で成り立っています。
活動を継続していくために、サポーターとしてお力を貸していただければ幸いです。



こちらから
銀行振込
または
クレジットカードが
えらべます。

(今年4月~11月にご寄付いただいた方) 伊藤千尋さん、山田義彦さん、和気隆三さん、片岡剛士さん、及川江利奈さん、Fさん、松本真由美さん、安宅俊さん、稲川洋さん、Hさん、濱田唯さん、今村浩太さん、福富律さん、カピバラさん、あおみさん、奥原孝幸さん、田中友さん、鳥潟ちとせさん、智田文徳さん、Sさん、おーちゃん、大倉よしのさん、ひびのさん、栗田陽子さん、AKさん、飯島妙子さん、神奈川人権センターさん、兵庫県精神医療人権センターさん
ほか、匿名希望のみなさま(順不同)
ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【ボランティアのつぶやき】

おおよそ1年前、
事務局の皆さんの傍らで電話相談を見学したことを思い出します。
怒りや不安を抱えて感情が高ぶられた声に、
真摯に耳を傾け感情に寄り添い、
確信持てないことは素直にきいて確認されていました。

**自分の声がちゃんと届いている
自分の話が受け入れられている**

電話の向こう声が穏やかになりそんな気持ちが伝わってきました。
人々の権利を守るだけでなく、心をも支える大切な活動支援。
どの活動もチームの力を活かして笑顔で支え合っていて、
活動に参加するたび、元気をもらっています。(miwa)

電話相談などで活動して
くださっているボラン
ティアさんに日々感じた
ことをつぶやいていただ
きます。

【相談活動のご報告】10月～11月

<相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン面談
10月	129件	113件	7件	4件	1件	4件	0件
11月	86件	74件	4件	1件	5件	2件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・その他
10月	17件	9件	8件	13件	4件	0件	11件	6件
11月	10件	8件	2件	5件	5件	0件	5件	5件

<日々の相談のなかから・・・>

運転免許の取得にあたり、精神疾患があるということで教習所などから差別を受けたという憤りの相談があった。免許や資格を取る際に心身の障害を理由に取得を拒否、または難しくする「欠格条項」が国の法律や指針に数多くあり、それらをなくす運動が進められている。私自身が住むマンションの管理規約にもそういう条項があることを最近知り、我々の身の回りにそういう差別の温床があることを思い知らされた。（稲川）

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

10月31日（木）6名（現地4名、オンライン2名）

11月29日（金）8名（現地6名、オンライン2名）

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。ぜひ、みなさんご参加ください。

10月5日（火）来場15名 オンライン12名

11月5日（火）来場12名 オンライン13名

KPの予定

◇12月19日 小堀大感謝祭

◇1月7日 KP定例会

□2月 ベルギー報告会 第二弾（予定）

□2月 病院訪問座談会（予定）

<講師、大学等でのゲストスピーカーの依頼をいただいています。>

・12月26日 神奈川県立保健福祉大学 ゲストスピーカー

・1月14日 横浜創英大学 ゲストスピーカー

・1月28日 江古田福祉会 職員研修講師

・1月30日 横浜市社協 職員研修講師

・2月（予定）寿アルク 虐待防止研修

講演とか研修とか盛りだくさんです。
メーリングリストでお知らせします。



【編集後記】

今年ももう12月・・・よかったなあと思うことも、あれはだめだったなあということもありました。みなさんはどんな年だったでしょうか。

電話相談は、年内は**12月27日**まで、
新年は**1月6日から**始動します。

KPは来年 また新たに出発の年にもなりそうです。ベルギー精神保健医療改革視察の報告を受けて、KPとしてどう活動していくか、ビジョンを言葉にして伝えていきたいと思っています。ぜひみなさんの声も聴かせてください。

発行 行：認定NPO法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー

発行日：2024年12月10日

住 所：〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-14-3

電 話：045-353-5711

事務局携帯電話：080-7372-7432

相談電話：080-7295-8236

MAIL :kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ：https://kanagawa-peer.com/





KPニュースレター

2024 vol.05

こんにぴあ。さむーい毎日が続いています。と思いながら、まちを歩いていると春の気配に気が付くことができます。冬もよかったけれど春も待ち遠しいですね。

< 2025年のKPは またまた活動をしんか（進化、深化、新化）させていきます・・・ >

KPの活動は、「声をきく」「扉をひらく」「仲間（ピア）がささえる」「社会をかえる」の4つの理念とともに、多様な立場の方々が権利擁護への思いを一つに、にぎやかに集うことで展開しています。本年も、皆様と活動をご一緒できることが楽しみです。引き続き、KPをよろしくお願いいたします。

堀合悠一郎



定例会後に みんなでパチリ



このたびKPの担当になりました和田泰治と申します。

精神障害者の人権擁護を進めるには社会の意識・固定観念を変えていく必要があります。その為にはKPの活動を一人でも多くの方に共感を持って理解を頂くことが大切であり、それがこれからの共生社会に向けて求められることだと思います。その実現に向け日夜努力されているKPの皆さんと仕事ができることを誇らしくも身の引き締まる思いです。

福祉と無縁のサラリーマンを卒業、縁あってさざなみ会のお手伝いをさせていただき10年になります。まだまだ学ぶことも多いですが、微力ながら少しでもお役に立てればとおもっておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。 和田泰治

1月の定例会で、
2つの検討事項について話し合いました。

◇必要経費のスリム化をはかるために、活動拠点を移転する

- ・ 4月からさざなみ会の事業所（地域活動支援センター工房タッチ）の一部屋を活動拠点とし電話相談活動を続けていく
- ・ 固定電話は廃止して、事務所用携帯電話を活用する

◇みなさんの声を沢山受けとれるように、定例会の日時を検討する

- ・ みんなが参加しやすい日程を探っていく（まずは2月3月の予定は・・・）
- ・ 2月4日（火）18：30～20：00
- ・ 3月21日（金）18：00～19：30

定例会開催にあたり、たくさんの情報や話題をよせていただきました。会場16名、オンライン10名での活発な意見交換となり、新年のあたたかな時間でした。

（事務局より：三瓶）

みなさんありがとうございました。

【12/26(木) 県立保健福祉大学で講演・交流してきました。】

神奈川県立保健福祉大学の行實先生の精神保健福祉士を取るコースの来年実習を控えた3年生の授業に、KPメンバー（池畑、小林、関、風書、三輪、山田）と事務局の三瓶で訪問した。KPの歴史や理念、相談活動、面会活動についてと、訪問したKPメンバー6人のさまざまなリカバリーストーリーなどについて、話す機会をいただきました。

昼過ぎから開始ということで、昼ごはんは大学の学食で頂きました。学生さんが普段食べているごはんでは元気をもらって臨みました。ストーリーテリングでは、KPに関わったいきさつ、電話相談、私たちの事、そして詩の朗読をしました。交流会では学生さんは控えめでしたが、やはり興味があるのか質問して頂きました。お互い緊張していたようですが、次第にうちとけてきました。（風書）



KPの大切にしている健常者とピアとの共生や、オンラインで各人がそれぞれ大切にしているポリシーやピアアボドケイトや、相談活動の意義や、生きがいや社会貢献について述べた人もいます。

グループワークになり、学生の入学動機や将来の方向性の希望などを聞いて、学生たちが、目をキラキラ輝かせながら将来の夢を述べていて、こちらも元気や生きる力をもらえた。

再来年の国試に向け、実習、就職活動など、忙しい日々でも仲間で乗り切って行こうと来年に向け、決意を新たにしている、聞いている側としても、とても嬉しい気持ちになった。（池畑）

わたしたちKPが大切にしていることの4つのうちの「社会をかえる」に当たる取り組みとして講演活動に初めて参加しました。それぞれの自分史等をボランティア相談員が学生さんに語ったことで、結果、相談員同士がそれぞれの人となりを知り合い、距離が縮まる機会に恵まれたことは、良かったです。受け手の安心や安全な環境も大切になる相談業務に当たる私たちにとって、普及啓発のための活動に参加したことで得られた、とても有難い恩恵であるように感じました。（小林）

授業のあとで学生さんが書いたリアクションペーパーを読ませていただきました。何人かの学生さんが、当事者ではない専門職のアイデンティティがどこにあるのだろうかという問いを立てているのが印象に残りました。ピアと専門職がいることでお互いのアイデンティティが際立ってくるのかもしれない。（三輪）

授業に参加する前は期待でワクワク、また学生さん達に私の発表することが理解してもらえるか心配でドキドキしました。グループワークになると質問攻めにあい、皆さん熱心にメモを取っていて熱意を感じました。あっという間のステキな時間を過ごし、また皆さんと共有出来ました。私も若いパワーをもらって元気になったし、学生さん達にもよい交流だったと感じてくれたら嬉しいです。（関）



【1/14(火) 横浜創英大学に訪問してきました。】

横浜創英大学の看護学部（小川雅代先生、横山恵子先生）の「精神科医療における人権擁護活動の実践を学ぶ」という2年生85名の授業にゲストスピーカーとしてお招きいただき、KPから藤井、山本、中森、三瓶でお話ししてきました。

横浜創英大学の看護学科の2年生の授業に行ってきました。

初めて大勢の前でゲストスピーカーとして話をしました。自分の体験や、KPの活動について紹介しました。とてもいい経験になりました。

患者さんを一番見ているのは、看護師さんなので、患者さんに寄り添う看護をしてほしい、と話してきました。（山本）



□1/25（火） やどかりの里やどかり研究所（埼玉県）主催の第23回（2024年度）報告交流集会に参加してきました。諸外国での精神保健の仕組みが紹介され、堀合さんはベルギーの精神医療改革視察の経験をふまえ、当事者中心の精神医療への改革や、市民への普及啓発などについて、「倫理的なことは、専門知識がなくてもわかりやすいこと。人の心に、倫理観に訴えることの大切さや、その効果もあると思う」と話しました。



□1/30（木） 横浜市健康福祉総合センターにて、横浜市社会福祉協議会の職員研修（人権研修）にてお話をしてきました。風書さんは「声をきく」ということは、相談してくる方の心に寄り添い、痛みを分かち合うことが大事」と話しました。藤井さんは「誰もが当事者になりうる。みなさん協力してメンタルヘルスのことに取り組みましょう。」と話しました。



『定例会ってこんな様子です・・・』

〈12月 定例会〉

- 11月の相談について報告
- KPの運営についての情報共有と意見交換

〈1月 定例会〉

- 12月の相談について報告
- 神奈川県立保健福祉大学
ゲストスピーカーの報告など



【サポーターになってください!!】

わたしたち KPの活動（病院の訪問や相談活動、普及啓発事業など）は、サポーターの皆さまからのご支援で成り立っています。

活動を継続していくために、サポーターとしてお力を貸していただければ幸いです。
（2024年12月～2025年1月にご寄付いただいた方）福所さん、鈴木さん、池畑さん、山田さん、青木さん、斉田さん、小林さん、匿名希望のみなさま（順不同）ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



こちらから銀行振込
または
クレジットカードが
えられます。

【ボランティアのつぶやき】

電話相談ボランティアのお仲間に入れていただいて、1年半ほどたちました。お当番の日はJR新杉田駅から歩いて行くのですが、どんどん緊張が高まります。でもKPのドアを開けて中に入ると、一気にほっとします。その日にいらっしゃらない方々も含めてみんながかもしだしている空気を感じて、「よし、今日もやってみよう」と落ち着くことができるのです。

あるミニミーティングでのこと。KPの共通の相談の枠組みがあるかというような話題になり、最終的に確認されたのは「みんなそれぞれでよい」ということ。私はそれまで、相談員のメインは当事者さんで、ソーシャルワーカーの自分は当事者さんに追いつけないな・・・というような感覚を勝手に持っていたので、「それぞれでよい」ということにびっくり！そして次の瞬間に納得！私は私ができる対応を、心をこめてやっていけばいいんですね。

お当番は月1回ほど、まだまだひよっこです。どうぞみなさまよろしくお願いいたします。（大倉よしの）

電話相談などで活動して下さっているボランティアさんに日々感じたことをつぶやいていただきます。



【相談活動のご報告】12月～1月

<相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン面談
12月	99件	76件	10件	8件	1件	3件	1件
1月	96件	84件	5件	2件	1件	4件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・その他
12月	10件	6件	4件	6件	3件	1件	9件	1件
1月	12件	8件	4件	9件	3件	0件	10件	2件

<ボランティアさん紹介!!>

岩崎です・・・新しくボランティアの一員になりました岩崎です。みなさんの背中を追いかけながら、電話相談のこと、KPのこと、勉強中です。お会いできたらぜひお話ししたいです！

精神保健福祉士資格
チャレンジ中の山田です。
対話（電話）を通して、
「弱さ・苦勞」を分かち
合い、気づきやつながり
の機会を増やしましょ
う！！

栗田です・・・どんなご
相談があるのか、自分で
聴くことができるのか、
なにかお役にたてれ
ば・・・そう思いながら電
話相談をさせていただい
ています。

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

12月27日（金）13名（現地9名、オンライン4名）

1月31日（金）6名（現地5名、オンライン1名）

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。ぜひ、みなさんご参加ください。

12月3日（火）来場14名 オンライン11名

1月7日（火）来場16名 オンライン11名

「くすりについての意見交換会」

2/21（金）14：00～16：00に「くすりについての意見交換会」を行います。

MDAA東京（メディカル・ドラッグ・アディクション・アノニマス）の佐川さんが、KPに見学にいらっしゃることになりました。遠方からいらっしゃるので、精神科の薬について、意見交換をする場をつくろうというお話になりました。

この「くすりについての意見交換会」は、薬を飲むこと・やめることを推奨するものではありません。

自分の薬との付き合い方、困っていること、工夫していること、感じていることなどを共有する場としてご参加いただければ幸いです。

ご参加希望の方は 事務局メールまでご連絡ください。

【編集後記】

KPの事務所を引っ越すことが決まりました。

3月14日から **新事務所**になります。それに伴い固定電話が、携帯電話（080-7372-7432）に変更になります。

KPは、変えてもいいものは変えながら、変えられないものはきちんと守って、これからも活動が続けていきたいと思います。

今の事務所の片付け、新事務所の準備など・・・またまたボランティアさんに協力をお願いしたいと思います。お手伝いできます！とご連絡いただけると嬉しいです。

発行：認定NPO法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー

発行日：2025年2月10日

住 所：〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-14-3

（新住所：横浜市磯子区森6-1-10）

電 話：045-353-5711（3/13まで）

事務局電話：080-7372-7432

相談電話：080-7295-8236

MAIL :kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ：https://kanagawa-peer.com/





ありがとう KP事務所!



2020年からお世話になってきたKP事務所から、この度引っ越しをすることになりました。みんなで引っ越し作業をしたあの日。初めての所内面談。初めてのミーティング…。いろんな思い出がつまった事務所とお別れするのはさみしいですが、次の事務所でもKPをよろしくお願いします！

新住所はこちら！

〒235-0023

神奈川県横浜市磯子区
森6丁目1-10

事務局直通番号はこちら！

080-7372-7432

※今までの番号（045-353-5711）は廃止されます。

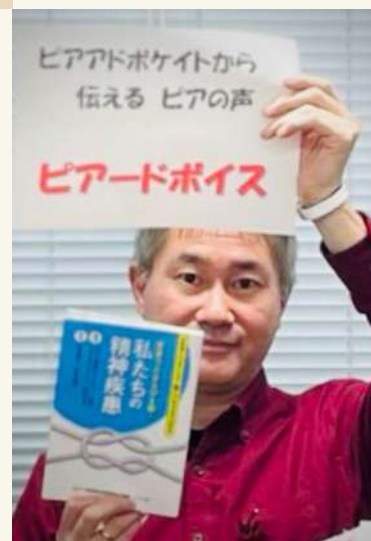


2024年度は、私たちはKPメンバーである佐藤孝さん、小堀真吾さん、尾木真也さんを天国へ見送ることになりました。3人へ感謝の気持ちとともに、追悼文を掲載します。

追悼文

佐藤孝さん

サルーテの愛称で親しまれていた佐藤さん。KPには準備会から参加されていました。KPの立ち上げを支えてくれた全国ネットワーク会議にも初回から出席し、2022年に行った他県の精神医療人権センターとの「全国一斉相談」では記録係として大活躍されました。ピアアドボケイト研究でも、定例会でも、OUTBACKでも、いつも冗談を言いながら場を盛り上げてくれました。どんな時でも同じ調子で、たくさん喋って、時に自分につっこんで自分で笑って、みんなを楽しませてくれてありがとう。もっともっと一緒にいたかったです。どうか私たちを見守っていてくださいね。(濱田唯)



2023年12月26日
ピアアドボケイト研究会での佐藤さん

小堀真吾さん



2023年10月27日
和氣先生と対談する小堀さん

小堀さんは、昨年突然私たちの前からいなくなって、二度と会えなくなりました。どんなに会いたくても、相談したくても、文句を言いたくても伝えられないのです。普段の「ありがとね」すら何も伝えてなくて、いることが当たり前なのに、突然なくなったものだから、残された者としては、大きな迷路に突き落とされ、迷子にされたようです。残された私たちは自分で考えて、決断して行動しなければなりません。これは大変なことです。隣の仲間が助けてくれます。それが各個人を成長させてくれます。もう泣き叫ぶことは終わり。「みんなで楽しくやろうよ、きつとうまくいくよ」は彼の口癖、みんなで愉快地新しい価値を作っていきましょう。最後に、空に向かって「小堀さん、今度は何やろうか?!」(奥原孝幸)

尾木真也さん

昨年、私共ピア仲間の尾木真也さんを天に送りました。まずは、尾木さんの生前私共KPの諸活動のご活躍に多大な感謝を表します。定例会でいつも言う「どうも、尾木です」という自己紹介、懐かしく思います。どうか安らかに眠りください。また、今後の私共の活動を天国から見守っていてください。(藤井哲也)



当事者活動でお話
されている尾木さん

KPサポーター（ご寄付）のご案内

KPの活動（相談活動や病院訪問、普及啓発事業など）はKP活動サポーターのみなさまからのご支援（ご寄付）で成り立っています。活動を継続していくためにお力を貸していただければ幸いです。

01 ホームページからのご寄付

HPからクレジットによるご寄付が可能です。右のQRコードからHPにアクセスしてください。



02 ホームページ以外からのご寄付

- ①まずはお電話（080-7372-7432）からご連絡ください。
- ②お名前・連絡先・振込金額をお伝えいただき、振り込みをお願い致します。

振込先

横浜銀行 杉田支店
普通 1530250
特定非営利活動法人
さざなみ会

- ・サポーター特典として、KPが発行するニュースレターや活動報告書、有料刊行物を郵送でお届けします。
- ・金額に指定はありません。可能な時に可能な金額でご支援いただければ幸いです。
- ・当法人は、2023年3月、認定NPOを取得いたしました。2,000円以上のご寄付について、税制上の優遇措置の適用（所得控除・税額控除）を受けることができます。後日、「寄附金受領証明書」を発送させていただきます。

発行：認定NPO法人さざなみ会 KP神奈川精神医療人権センター
住所：横浜市磯子区森6-1-10
事務局直通：080-7372-7432
メール：kp.kanagawapeer@gmail.com
ホームページ：https://kanagawa-peer.com

ご相談は今までどおり **080-7295-8236** まで！